

# 生えている ところ

## を見る

ヤチダモの実生



### 水際はヤナギ



水際のヤナギ林

一番水際に生えるのは、ヤナギの仲間です。土が肥えていなくても良く、水をかぶっても腐らず、とても成長が早い。そこで、ヤナギは川岸が崩れないように（護岸）するために、植えられることがあります。



水際のヤナギ幼木林

### わずかに高い石原にケショウヤナギやドロヤナギ



ケショウヤナギの林。水際より若干高いところに生える

ケショウヤナギやドロヤナギは、ヤナギの仲間ですが、あまり水がかぶる場所には生えません。かといって他の植物がよく生える肥えた土にも生えず、河原の石がゴロゴロしたところで成長します。



ケショウヤナギやドロヤナギは石がゴロゴロしたところに根を張る

ドロヤナギ実生

### ドングリは水から離れた高いところ



段丘の上にはカシワやミズナラが多い。円内は根を出したドングリ

ドングリの木であるカシワやミズナラは、水から離れた高いところで成長します。川の近くでは、小高い丘（段丘）の上によく生えています。

ヤチダモやハルニレは、少し湿った所に生えるようです。

河原では、洪水の後、まず湿気に強く、成長の早いヤナギが生えて林を作ります。ただヤナギは木としては寿命が早く、だんだん減っていきます。入れ替わりに、成長の遅いハルニレやヤチダモが育って、林の様子が変わっていきます。

#### 参考文献

「ヤナギ類 その見分け方と使い方」 斎藤新一郎 （社）北海道治山協会 2001  
「北海道 樹木図鑑」 佐藤孝夫 亜細西社 1990

「新装版 樹木根系図説」 刈住 誠文堂新光社 1987